

情勢報告（平成28年8月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

仁淀川流域茶の販売拡大のためにーイベントアドバイザーと茶の魅力を再発見ー



8月5日、当普及所において仁淀川流域茶産地振興協議会主催の勉強会が開催され、茶生産者やJA職員など19名が参加しました。講師にイベントアドバイザーの中村雅子氏を招き、お茶を売りにいく時の注意点や自分たちのお茶がどのような場所で栽培され生産しているのか、魅力は何なのかを参加者に発言させたり、書かせる方法で進みました。販売時にはTPOに応じた服装や茶の知識が必要であり、栽培面では仁淀川に発生する霧により茶が美味しくなっていることなどを確認しました。

普及所では勉強会の計画段階から支援しており、同アドバイザーによる残り4回の講義では、購買層の再確認や販売の練習および実践を予定しており、これらにより魅力再発見と販売力向上につなげていきます。

新規就農者、就農希望者の技術力アップのためにー高吾えいのう塾スタートー



当普及所では、新規就農者や就農希望者等を対象に、農業の基本的な知識の習得を目的に「高吾えいのう塾」を開催しています。今年も7月に第1回目がスタートし、農業全般や病害虫、施肥など品目共通の座学4講座と、ニラやトマトなど管内の主要4品目の座学および現地研修の全8講座を計画しています。

今年度2回目は、8月4日に5名が参加してピーマンの研修を行い、追肥の施用法や生育温度の条件、収穫等の作業日程、病害虫対策、必要労力などさまざまな質問がありました。

今後、11月まで各講座の開催により、参加者の知識・技術の習得を支援します。

地域の6次産業化推進のためにー6次産業化プロデューサーによる入門講座を開催ー



8月4日、当普及所主催で6次産業化入門セミナーを開催し、村の駅ひだかの職員や管内の地域おこし協力隊員など13名が参加しました。講師に食の6次産業化プロデューサー松田高政氏を招き、「農産物直売所における6次産業化」と題した講演を行いました。

講演では、田舎でいかに幸せに暮らすのかを目的に、6次産業化の必要性や県内先進事例などが紹介されました。また、参加者同士が新たに売れそうな加工品について話し合い、こんにゃくの加工品などが紹介されました。参加者からは「今後6次産業化で加工品に力をいれていきたい」といった感想がありました。

当普及所では、今後も6次産業化の裾野をひろげていけるよう、研修会などを開催し支援していきます。

J A コスモスおち産市部会が夏秋野菜の育苗について研修会を開催



8月10日、J A コスモスおち産市部会が、夏秋栽培用野菜の育苗について、高知市春野町の(株)高知前川種苗の研究農場において研修を実施しました。参加した部会員は、日々の作業に携わっている農場スタッフからの育苗についての説明に、自分の作業と重ね合わせてうなずきながら聞き入っていました。

地域アクションプランには、観光物産館おち駅での地場産品の販売促進を位置づけており、普及所ではおち駅の利用者拡大に向け、地場農産物の出荷拡大を支援しています。

普及所では、これからも定期的な講習会の開催を支援していきます。

J A コスモス佐川イチゴ部会が園めぐりを実施



8月9日、J A コスモス佐川支所イチゴ部会が、部会員のほ場を巡回する園めぐりを開催し、17戸の部会員全員で育苗管理について勉強会を行いました。

当日は、問題になっているハダニ対策について、殺ダニ剤や気門封鎖剤の使用状況や部会員それぞれの工夫について情報交換を行いました。

普及所からは、ハダニ防除試験として、天敵保護資材を用いることで天敵によって苗段階のハダニ密度を下げられることを説明しました。

普及所では、これからも部会全体の技術向上を支援していきます。